

香川大学医学部看護学科同窓会「木蓮会」会報 9号



会長挨拶 坂本 怜 (7期生) 同窓会活動にご協力をお願いします!

昨年度より会長をさせて頂いております坂本です。

私は KKR 高松病院の内科病棟で勤務しています。私は今年で 36 歳になります。今年入学してきた学生からすると倍の年齢になることを改めて驚いております。今は職場のフットサルサークルに主力選手として活躍しています。製薬会社、他病院のスタッフとプレーを重ね楽しんでます。プライベートでは子供 2 人に恵まれ子育ても楽しんでます。

さる 2016 年 11 月 16 日に医学科同窓会 讃樹會会長 濱本龍七朗先生、看護学科長 佐々木睦子先生、木蓮会会長坂本怜、木蓮会幹事 安藤由紀子にて、三者会談を行いました。詳細は、医学科同窓会会報 第 53 号に掲載されております。対談時に、木蓮会として活発に活動を行っていく必要性を実感いたしました。

今年は木蓮会発足 22 年となり約 1120 名の卒業生が巣立っていきました。多くの同窓生のお力添えにより木蓮会は成り立っています。今年は学生全員に木蓮会の名前入りの文房具などを送り、国試当日にはバスでの四年生の送迎を提案し援助する予定です。同窓会として何ができるか模索しながら頑張っていきたいと思っております。

これからも、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

同窓会費納入のお願い

同窓会は会員となる卒業生の会費によって運営されております。卒業時に納入されていない既卒者は、**永年会費 2 万円** (8 期生は 1 万 5 千円、卒業時に五千円支払っているため) を納入していただきますようお願いいたします。
納入該当の方には、振り込み用紙を同封しております。氏名と期生を明記し、納入下さい。

異動通知書のお願い

同封の異動通知書を事務局へ FAX またはメールしてください。住所変更がない方も確認のためをお願いします。
同級生で会報が届いていない方の住所をご存知の方については、木蓮会の紹介をお願いします。

助産師のための奨学金助成制度

香川大学医学部附属病院に入職し、且つ同窓会会費を全額納入されている方を対象に、奨学金制度があります。希望される方は事務局までご連絡下さい。連絡先は末尾をご参照ください。

同窓会開催時の助成制度

各期生で **10 名以上** の同窓会を開催される場合は木蓮会より 1 人 2000 円の助成を行います。
ただし、**助成の対象者は会費納入者** に限ります。
同窓会役員(または代表者)は会報に 200 字程度の原稿(写真添付)を執筆していただきます。

16 期生卒業記念品の紹介

卒業記念品として病気がみえる 4 冊を贈らせていただきました。実習などで活用していただければと思います。 安部早智子



国家試験応援品の紹介

4 年生に受験応援として、合格五角鉛筆、消しゴム、お菓子を配布しました！



記念品贈呈・・・退職記念に當日雅代教授と名越民江教授に記念品を贈呈しました。



【當日雅代 教授からのメッセージ】

同窓会から記念のトトロの置時計ありがとうございました。卒業生の方は、私がトトロ好きだったことを思い出していただいたかもしれません。大阪の家で時を刻んでくれています。香川大学では 13 年間大変お世話になりました。

13 年間は長いようであり、振り返るとあっという間でした。急性期看護実習では、「當日先生のところの実習は大変だ」と言われながらも、実習が終了したときの学生の「やり切った感」を見るのが楽しみでした。また、ここ 3～4 年は卒業生の後輩指導を頼もしく思っていました。後輩のために実習環境を整えてくれたり、適切な看護モデルを提供してくれたり、心強い限りでした。私にとっての 13 年間は教員として私を育ててくれた貴重な年月でした。年老いた親の介護もあって、14 年目は大阪に戻ることにになりました。同志社女子大学という伝統のある私立大学ですが、看護学部は新しいです。

香川大学看護学科で培った教育を最大限に活かすことが、香川大看護学科への恩返しと思っています。また、日ごとに香川大学看護学科生は優秀であるという思いが増し、皆さんと一緒に過ごせたことを大切にしていきたいと思っています。

卒業生と在校生の皆様の今後のご活躍を大阪の地で祈っております。

【名越民江教授からのメッセージ】

本紙面をお借りしまして木蓮会の皆様に、定年退職のご報告と、退職記念品として頂戴しましたお花、2017 と刻したバカラのペアグラスのお礼を申し上げます。

平成 15 年 4 月に香川医科大学医学部看護学科基礎看護学教授として着任、その後大学の統合等もあり、現在の香川大学医学部看護学科に至り、この度、平成 29 年 3 月 31 日をもって定年退職いたしましたことをご報告させていただきます。

これまでの 14 年間に学部教育、大学院教育に携わり皆様と出会い、そして看護職者として各方面でご活躍の様子を見聞きすることができて、皆様の母校である香川大学医学部看護学科の教員として幸せに過ごせたことに深く感謝申し上げます。またこの年月の 1 コマ 1 コマ、お一人お一人との出会いの日々は、私の生涯の宝物として大切に記憶しておくつもりです。(年齢とともにこれらの記憶が難しくなると思いますが、きっと楽しかった事柄として自分の中に最後まで残ると思います。) さらに、4 月 1 日付で香川大学名誉教授の称号が授与されましたことを併せてご報告致します。というのも名誉教授は、学位授与式・卒業式の出席案内があるというので、香川大学医学部看護学科、木蓮会とは今後ともご縁が続くようなのでご厚誼のほどお願い致します。

最後に 4 月 1 日以降の私の近況ですが、大阪に住居は戻りましたが、現在平成 30 年 4 月に開学予定の東京医療保健大学和歌山看護学部の設置準備室で、開学に向けて文科省、和歌山県庁、実習施設のメインである日赤和歌山医療センター等々、学生確保のための入試広報にあたっています。和歌山県に初めて 4 年制の私立大学が、県、

市、日赤、大学の4者の連携・協働で立ち上げる大学になります。今まで国公立大学しか知らない私には、この年になっても知らないことも多くあり、あらためて創り出すことの大変さや、組織の違いを感じたりもしましたが、基本的なことは共通していると実感しています。(新卒の木蓮会の皆さんにも当てはまることだと思います。)長くなりましたが、今後の木蓮会が益々ご発展・ご隆盛でありますよう、大阪の地よりお祈り申し上げております。遅ればせながらお礼と近況報告まで。

同窓生紹介・・・1期生の門田耕一さんが日本看護研究学会において『学会賞』を受賞しました！

香川医科大学医学部看護学科第1期卒業生、香川大学大学院第4期修了生の門田耕一です。香川大学大学院では、田中輝和教授のもとで「気管挿管患者に対する口腔ケアに用いる洗口液の殺菌効果」の修士論文をまとめました。このテーマは、「ICUでのイソジンを使った口腔ケアは効果があるの？」という日常の看護ケアの中にある、素朴な疑問から生まれたものでした。在学中は、論文クリティークや研究計画書作成、細菌培養などの実験手技からデータ収集と分析に至るまで、とにかく田中教授から実験研究の手法を獲得することに没頭しました。今、振り返ると、「よくあんなに先生に食らいついて頑張れたなあ」と思います。大学院修了後は、さらに分析を加えて日本看護研究学会へ投稿、原著論文として掲載され、学会賞を頂きました。

その後、「学ぶことに限界を作るな！」という田中教授からの助言を受けて、大阪府立大学大学院 CNS コースへ進学、現在は岡山大学病院で専門看護師として活動しています。そして、修士論文が学会誌へ掲載されたことで他大学教授から声がかかり、日本クリティカルケア看護学会口腔ケア委員会で、気管挿管患者の口腔ケア実践ガイド作成にも携わっています。改めて「研究を形にする」ことで他者の触れ、臨床実践や看護研究の発展に繋がることを実感しています。

大学院では研究手法に加えて、研究者としての「関係者との連携方法」や「文章の書き方」、「研究に対する真摯な姿勢」など、多くのことを学びました。また、田中教授が臨床医でもあったことで、「自分が置かれた状況で、どうすれば最大限のアウトカムが得られるかを常に考える」という臨床実践家としての姿勢も学びました。これらの学びは現在、私が専門看護師の役割を遂行する上での礎になっています。

私にとって大学院の2年間は「自分を見つめ直し、新たに多く視点を持った看護師に育ててくれた時間」であったと思っています。

指導された田中輝和 前教授からのメッセージ

門田君に看護研究学会賞が授与されたことは、彼だけではなく看護学科にとっても名誉なことと思います。今回の学会賞の授与は、基礎的研究により科学的根拠を明確にし、その有効性の結果をもとに看護臨床に応用するという、看護研究が目指す方向性に沿った研究を実践した点が評価されたものと思います。彼の授賞によって、同窓の皆様にとっても看護研究が身近なものに感じられ、積極的に研究に取り組まれることを期待しています。その成果は、ぜひ原著論文として学会誌等に発表し、研究のプライオリティーを目指していただきたいと思います。

同窓会役員の紹介 敬称略、()は期生

会長:坂本 怜(7) 副会長:菊本 暁人(4) 古市 宏美(10) 会計:沖 亜沙美 会計監査・監事:丹生 香里(1)、安藤 由紀子(1)

編集後記

今回も無事に会報を発行できますことを、木蓮会会員や医学科同窓会事務局の皆様にご感謝申し上げます。加えて、寄稿して下さった皆様、心より感謝申し上げます。皆様に親しまれるような紙面になるよう微力ながら努力してまいり所存です。また、忌憚のないご意見ご提案がございましたら、ご教授いただければと思います。

会報は、本来は毎年の発行を目指しております。今後とも、皆様のご協力を何卒、よろしく申し上げます。 編集責任者 安藤由紀子(1期生)

発刊日:平成29年11月8日

編集発行:香川大学医学部看護学科同窓会「木蓮会」

編集責任者:安藤由紀子(1期生、会計監査・監事)

事務局連絡先:TEL & FAX 087-840-2291

〒761-0701 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部内 香川大学医学部医学科同窓会 讃樹会 気付「木蓮会」

お便りをお寄せください！

近況報告や同窓会運営についての
ご意見など、何でも大歓迎です♪

